

# やつしろ 市議会だより

平成21年9月定例会



▲決意新たに第2期市議会議員

## 《主な記事》

○9月定例会見出し	...	2
○一般質問	...	3
○議員紹介	...	8
○議員構成	...	10
○委員会構成	...	11
○委員会報告	...	12
○9月定例会審議結果一覧	...	16

## 第17号

平成21年12月1日発行

編集・文責  
八代市議会  
広報編集委員会

☎ 0965-32-5984  
(市議会事務局)

# 一般会計 補正総額 五億四千二百九十万円

## ◎泉町携帯電話不感地解消事業

(五千七百七十一万八千円)

## ◎外港工業団地光インターネット整備事業

(五千七百九十万円)

## ◎住宅手当緊急特別措置事業

(三二千二百九十万円)

## ◎新型インフルエンザワクチン接種事業

(一千三百四十万三千円)



## 議案・請願・議員発議など二十三件を議決

など

九月定例会は、十月十三日招集、開会され、水道・病院事業会計決算、補正予算、事件、条例など議案十四件が上程され、市長の提案理由説明の後、十月十九日から二十二日までの四日間、十七人が質疑・一般質問を行い、二十二日には、市長から、補正予算一件が上程され、委員会審査に付しました。

最終日の三十日は、各委員長報告の後、決算議案二件を認定、議案十三件、請願一件を可決・採択、議員提出発議案一件を原案可決、また同日市長から追加提案された平成二十年度一般会計決算及び各特別会計決算十三件は、決算審査特別委員会設置後、付託の上、継続審査とし、さらに、議案一件が、追加提案され、委員会に付託の上、可決されました。

また、人事案件五件を同意し、十八日間の会期を閉じました。

付議事件、一般質問、審査の概要などは、次のとおりです。

## 正副議長 就任あいさつ



議長 山本 幸廣



副議長 田中 茂

市民の皆様には、日ごろより市議会に対しまして、深い御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。私どもは、去る九月十六日に開かれました九月臨時会におきまして、議員の皆様方の御推挙を受け、第三代八代市議会議長並びに副議長に就任いたしました。

平成十七年の市町村合併により誕生した本市は、この四年間新しいまちづくりが進められてまいりました。一方、地方分権改革の進展に伴い、地方公共団体の自己決定・自己責任の範囲が拡大する中におきまして、市民の代表としての意思決定機関であります議会の役割は一層重要になつております。このよな中で、市議会といたしましても、地域の特性を生かし、県南の中心都市となるよう広域的なまちづくりに向け鋭意取り組んでいるもの、解決すべき課題が山積し、より一層の努力が求められています。

これらの諸問題を解決するため、その役割と責任を改めて自覚するとともに、積極的かつ有効な議論を重ね、審議・議決機関としての機能を十分發揮することで、より多くの市民の皆様の声を政策に反映させ、その負託にこたえてまいりたいと思います。

私どもは、もとより微力ではありますが、公正円満な議会運営に努め、本市の発展と市民生活の向上を目指し、誠心誠意努力いたします所存でございます。

今後とも一層の御支援、御協力を賜わりますよう心からお願い申し上げます。

—  
般  
質  
問

議案に対する質疑と市政の各般にわたる一般質問は、十月十九日から二十一日までの四日間、十七人が通告・登壇し、幅広い、活発な論議が展開されました。

主な質問のあらましと答弁の要旨は、次のとあります。



## 行政に望む市長の基本姿勢

小園 純一

問 市役所内の職員駐車場のあり方と隣接する八代東高校テニスコートの活用方法についての市長の見解を伺う。

問 八月末に衆議院議員選挙があり、政権交代を求めた政党による政権の発足となつた。政権交代後一ヶ月が経過したが、政権交代に対する市長の認識と本市への影響（現時点）について問う。（ほかに環境センター（仮称）、市長・市議選について質問あり）

答 市長・総務部長 本庁舎南側駐車場は、平成七年には、隣接地が購入できれば移設を考えていたが、購入を断念したために現在まで職員駐車場として使

用している。

南側駐車場は庁舎の正面であり、通路まで駐車をしている状態は好ましくないので、前向きに検討しなければいけない問題であると思う。

また、隣接のテニスコート用地についても、八代市にとっては大変必要性のある土地であると考えている。



## 行政

### 日奈久地区の活性化について

問 日奈久に進出する場外馬券売り場開業後の経済効果について、八代市としてどのような期待・予測をしているか。さらに、施設内での軽食等の提供をする売店に地元業者参入の可能性があるか。市有地内に軽微な販売施設を設け、市民団体に提供できなかいかを問う。（ほかに学校敷地内の完全禁煙化などについて質問あり）

答 企画振興部長 直接的効果は、雇用の創出、来場者による消費活動、知名度の向上を期待する。二次的波及効果は、環境整備費等の助成、固定資産税の納付が考えられる。

特に、年間三十万人の来場者をいかに消費活動に結びつけるかが重要であり、日奈久の皆様とともに英知を結集しなければならない。JRAはエントランスでのテント販売は公的団体であれば無償貸与できると地元説明会で発言している。市も経済活動が新たに生まれ活性化につながるよう地元とともに取り組みたい。

答 市長・総務部長 日本の再生を政権交代に託した市民の期待は大きいものの、政権交代に伴う混乱や各団体との摩擦が懸念される。新政権はこのような期待と不安を受けとめ、説明責任を果たすことが重要である。また、地方公共団体の意見が、新政権の政策に十分反映されるべきである。

政権交代による本市への影響としては、国の一次補正予算の執行停止、暫定税率の廃止に伴う市の歳入減などがあり、新政権の政策の動向を注意深く見守る必要がある。

## 校区補助金等の使い道と監査

植原 勉

問 A 校区の調査の結果、時効もあるが決算書を公開せず監査報告も適当に出す。通帳開示も拒み、使い込みや疑惑が生じ、自治役員の品格と不正を行政は指導すべきと思う。また市政協力員として委嘱状が交付されるため信頼を厚くしているが校区から自治役員の信頼をなくしたとき、果たして自治会が成り立つのか問う。

答 監査委員・市民環境部長

市では、交付先である団体への監査は一部を除き実施していない。指摘の校区会について、補助金等を交付しているが、その審査については、支出を行つている課かいにおいて、その補助金等に係る実績報告書、収支計算書の提出を求め、目的どおりの事業が執行されているか確認をしている。また、市政協力員は、地区住民により選出された町内会長を市長が委嘱している。住民の信頼のもと町内が円滑に運営されるよう関係部局と連携し助言等行つていきたい。

※課かい…全部署

## 荒瀬ダム問題について

亀田 英雄

問 荒瀬ダム問題は県が事業主体であるが、地元の意向は反映されるべきものであると考える。福島市長は今回の市長選挙で「荒瀬ダム撤去」を掲げ当選されたものであるが、この問題をどのように認識し、どのような見解を持つているのか。そして、今後どのような取り組みをなされていくのか伺う。

答 市長 荒瀬ダムは、水質汚濁を初めとする環境問題、水害の発生、漁業への影響、騒音振動被害等、ダムで影響を受ける地元住民の生活はもちろんのこと、流域住民にとつても、大変な苦労を強いてきたと認識している。流域住民の立場に立ち、自然環境の再生、自然環境との共生という観点から、ダム撤去という方針で、県との協議を積極的に進める。今後は、県と連動し、撤去費用の負担を求める行動が必要であり、十一月には、国土交通省に要望する予定である。

問 新市誕生以来、行財政改革に無駄を省く「事業仕分け法」を取り入れたらどうかと提案してきた。新市長公約に「市債残高一千億円の縮小」と「固定資産税の税率を一・四%に引き下げる」とある。どういう計画で、縮小と引き下げを図るのか財源の根拠を伺う。(ほかにがん対策、インフルエンザ対策について質問あり)

答 市長 市債については、從来どおり、公共事業のための建設事業債を償還元金の範囲内に抑えることを原則に、今後十年間で百億円程度を目安に市債残高の縮小に努めていく。また、固定資産税の税率引き下げについては、行財政改革の推進や施策の取捨選択など効率的な財政運営に努めていきたいが、国的新政権における政策次第では、地方財政の運営に大きく影響を及ぼすことになるので、今後の国の動向や本市の財政状況を見きわめて慎重に検討していく。

## 財政状況と施策の財源問題

飛石 順子

問 新市誕生以来、行財政改革に無駄を省く「事業仕分け法」を取り入れたらどうかと提案してきた。新市長公約に「市債残高一千億円の縮小」と「固定資産税の税率を一・四%に引き下げる」とある。どういう計画で、縮小と引き下げを図るのか財源の根拠を伺う。(ほかにがん対策、インフルエンザ対策について質問あり)

答 総務部長・建設部長 市税などの伸びが厳しいことから、人件費の削減や事務事業の見直しによる歳出の削減、使用料・手数料などの見直し、徴収率の向上への取り組みなど歳入の確保に努めていく必要があると考える。また、市債残高の縮小に努めていく。

今後四年間で、建設部が取り組む事業については、多種多様にある。近年、国の公共事業費削減が見込まれるなど、厳しい財政状況にあるが、社会基盤施設の充実に向け、事業の促進に努めたい。

## 基本政策の問題点と進め方

太江田 茂



問 A 校区の調査の結果、時効もあるが決算書を公開せず監査報告も適当に出す。通帳開示も拒み、使い込みや疑惑が生じ、自治役員の品格と不正を行政は指導すべきと思う。また市政協力員として委嘱状が交付されるため信頼を厚くしているが校区から自治役員の信頼をなくしたとき、果たして自治会が成り立つのか問う。

問 荒瀬ダム問題は県が事業主体であるが、地元の意向は反映されるべきものであると考える。福島市長は今回の市長選挙で「荒瀬ダム撤去」を掲げ当選されたものであるが、この問題をどのように認識し、どのような見解を持つているのか。そして、今後どのような取り組みをなされていくのか伺う。

問 新市誕生以来、行財政改革に無駄を省く「事業仕分け法」を取り入れたらどうかと提案してきた。新市長公約に「市債残高一千億円の縮小」と「固定資産税の税率を一・四%に引き下げる」とある。どういう計画で、縮小と引き下げを図るのか財源の根拠を伺う。(ほかにがん対策、インフルエンザ対策について質問あり)

答 総務部長・建設部長 市税などの伸びが厳しいことから、人件費の削減や事務事業の見直しによる歳出の削減、使用料・手数料などの見直し、徴収率の向上への取り組みなど歳入の確保に努めていく必要があると考える。また、市債残高の縮小に努めていく。

今後四年間で、建設部が取り組む事業については、多種多様にある。近年、国の公共事業費削減が見込まれるなど、厳しい財政状況にあるが、社会基盤施設の充実に向け、事業の促進に努めたい。

## 本市の将来像に向かつた施策

堀口 晃

問

新市の誕生から四年が経過し、本市の人口は約十四万人から十三万六千人と、四千人の人が減った。人口が減り続ける自治体の経済が向上することはないと専門家の話もある。市長の所信では、この四年間は五十年後の将来像を見据えた重要な四年間とある。市長の考える八代の将来像はどのようなものかと思う。

答 市長 五十年後の八代市像を考えた場合、本市の恵まれた地理的条件から、南九州の拠点都市を目指していきたい。本市は山川海、平野があり、これをいかに生かしていくかであると考える。

八代港をアジア方面への玄関口として整備促進し、母なる球磨川も早く自然の姿に返すことで八代海を再生し全国からお客様が集まるような観光資源としたい。これからは、「コンクリートから人へ」と考え方を変えて、八代の地理的条件や自然を生かしたまちづくりに努めたい。

## 市長のマニフェストについて

成松 由紀夫

問

①農業従事者の立場に立つた荒瀬ダム撤去。②外郭団体の長は兼務しない。③医療費無料化を小学三年生までの引き上げの公約は守られるのか。④前市長が推進してきた教育支援策について問う。(ほかに固定資産税率の引き下げ、田中町周辺の道路冠水、イエ振興策について質問あり)

答 市長 ①については、荒瀬ダムを撤去した場合の渇水時の対応は、県や地元土地改良など関係機関と十分協議を行い、ルール化することが大切である。

②については、外郭団体の活動状況等を精査し、市民目線での判断をしなければならないと考えている。

③については、他市に比べた制度拡充の必要性等を考慮し、前向きに取り組む。

④については、子供たちに「より良い教育環境」を提供できるよう、積極的に施策を推進したいと考えている。

環境

経済

## 新たなごみ処理施設について

太田 広則

問

建築三十四年、老朽化した清掃センター建てかえ問題については、もう待つたなしの重要課題である。新市長には、過去の政策が実現できなかつた理由をしつかり精査し、二度と同じ繰り返しがないよう推進を望むが、建設候補地選定に関するこれまでの経緯と現状並びに焼却方式や焼却灰の処理に対する市長の考えを問う。

答 市長 新たなごみ処理施設

の建設場所の選定については、これまでの教訓を生かし、透明性の高い、開かれた討議により進めて行くことが重要。ごみ問題等対策検討会で、現在討議中であり、今後検討会から提出される提言を尊重し、政策に反映させる。焼却方式については、専門家の意見を十分に聞きながら進める。現在、菊池市にお世話になつてゐる焼却灰の処理については、自前の処理施設を早急に整備する必要がある。

## P S D 熊本生産終了について

野崎 伸也

問

パナソニック・セミコンダクター・ディスクリートデバイス(P S D)熊本が九月末日をもつて生産終了となり、多くの離職者が発生している中で、これまでの本市の対応と今後の支援策について問う。また、八代管内の求人状況や求職者支援策、雇用創出の柱である企業誘致の現状と今度の方針について問う。

答 商工観光部長

工場閉鎖の発表を受け、緊急雇用対策本部会議を開催。事業継続等の要請など四項目を決定し、地元企業へ離職者の受け入れ要請と雇用計画調査等を実施。今後の支援策として、雇用の掘り起こしと離職者への再就職支援策に取り組むとともに、会社側に対しても引き続き雇用対策に万全を期すよう要請する。また、企業誘致実績は、一社誘致、数社から引き合いがあつてゐる。今後は、国の支援事業や優遇措置を活用しながら、引き続き県と連携した積極的な誘致活動を行う。

## 松中スポーツミュージアム

幸村 香代子

松中信彦スポーツミュージアムが開館して九ヶ月が経過した。開館まで、議会においてもさまざまな議論があつた。現在までの入館者数、収入、管理費を当初予算と比較した数値と年度末の見込みを問う。また、それを踏まえて今後の施設の方向性を伺う。（ほかに新型インフルエンザ対策などについて質問あり）

答 商工観光部長・企画振興部長・市長 開館から九月までの入館者数は約一万一千人で約三百四十九万円の収入に対し、約九百二十七万円の経費を支出しております、このままでは二十一年度予算では九百万円程度の不足が見込まれる。来場者数の当初見込みについては、最終的には博物館の実績を採用したものではあるが、当初見込みの段階でさらなる精査が必要であつたと改めて認識している。今後は、松中選手の気持ちを十分に酌み取りながら、この問題に決意を持って取り組んでいく。

## 第一次産業の振興について

福嶋 安徳

県は、農林水産業・商工業の振興等重点政策方針を決定、くまもと夢四力年戦略を発表。

八代の基幹産業振興と経営安定のため市独自の計画を作成し、県の事業と一緒に取り組み、活性化につなげることはできないか問う。（ほかに経済対策、地域介護について質問あり）

答 農林水産部長 第一次産業の振興については総合計画の中で、経営の安定を目指した農業の振興、林業経営基盤の強化、豊かで安定した水産業の振興を柱に各種事業を展開している。

今後、県計画と市の計画は、類似するものもあるので、整合性を図り、県と一体となつて各種事業に取り組んで行かなればならないと考えている。

県とは、協議会の中で農業振興のための協議を行つておられ、プロジェクト事業等も含め検討したい。



## 福祉

笹本 サエ子

子供の医療費問題について

松中信彦

市長の所信表明で子育て世代への支援策として、乳幼児医療費の無料化について対象年齢の引き上げを検討するとあつたが、引き上げ対象年齢、実施時期、財政面の影響額を伺う。また、病院で一時的に支払うお金がなく、重症化するケースもあるため政策的判断による窓口無料化の実現について問う。

答 市長 乳幼児医療費助成の引き上げ対象年齢は小学三年生までを考えているが、年間約一億円の予算が追加で必要となる見込みである。医師会との協議やシステム改修の必要性があるので、実施時期は、それらの状況を踏まえて検討したい。

窓口無料化については、各種保険組合から後で独自に給付される附加給付や高額療養費支給の把握が医療機関では難しく二重払いになるおそれがあること、無料化の実施で、国民健康保険の歳入が削減される等の問題があるが、附加給付制度のない保険に限る方法等、一部実施に向けた検討を進めたい。

## 介護問題について

庄野 末藏

本市における介護施設待機者数、高齢者のひとり・二人暮らしの数、低所得者への取り組み、介護職員待遇改善、大型指定事業者への健全な経営指導について問う。また、介護サービス以外に今後、近所の住民同士が協力しあい助け合う共同生活の必要性と今後の取り組みについて伺う。（ほかに障害者問題について質問あり）

答 健康福祉部長 介護老人福祉施設の定員総数は五百五十九人で、七百五人の方が待機している。低所得者への取り組みは、介護保険適用施設においては、入所者の負担軽減を実施している。有料老人ホームの入居費用については、負担軽減の対象にはならない。

介護報酬の改定は、ほとんどの施設で介護職員の待遇改善につながっている。高齢者のひとり暮しの世帯数が年々増加している。

今後も近隣の人と交流できる事業を実施し、住民相互の共助が生まれることを願う。

# 建設

# 教育

## 意見書

## 県道破木一見線の拡幅、改良 中村 和美

中村  
和美

# 氷川高校の存続について 大倉 裕一

九月定例会において意見書案  
一件が提出され、原案のとおり  
可決、関係行政庁へ送付しまし  
た。

## ◆氷川高校の存続を求める意見 (抜粋)

八月十九日、社団法人八代法人会の主催により、八代市郡・葦北郡・水俣市の小学校児童四十名が、八代市内の公的施設等の見学・体験学習で議場の見学に訪れました。

**答 市長** この道路は、市にとつても大切な道路と認識しております。私も県議時代から携わってきました道路もあり、状況は十分把握している。国道三号から二見小学校までの道路改良については、地元の理解が得られていない箇所があり、県も努力しているが、解決には時間を要するものと思う。また、この路線は狭いところが連続した区間が多数あり、離合箇所だけでも早急に解決できるように、地元の意見を聞きながら県に要望していきたいと思う。

もある。併しどても、市民の皆様の安心・安全のためにも、早急に県へ要望してもらいたいが、市長の考え方を伺う。（ほかに環境センター（仮称）建設計画、固定資産税の減税に対する市長の考え方について質問あり）

答 市長 県教育委員会には、もつと地元に足を運び、高校がなくなると困る地域の実情、考え方を理解していただき、計画の見直しをすべきだと思う。存続については、改めて署名活動も行われていると聞いており、今定例会に、地元議員四名を含む十名を紹介議員として請願も上がっている。同窓会やPTA、地元議員と行動をともにし、一丸となつて、引き続き県教育委員会に対し、市民の皆様からの存続に関する熱き思いを伝えてしまいたいと考えている。

県教委が示した県立高等学校による統合され、冰川高校が二〇一四年には廃校となり、鏡町などの八代北部地域から普通科を希望する子供たちは、八代南高校等の高校への通学を余儀なくされる。このことは、本人の体力など、懸念され、また、早朝通学等により家庭生活にも影響を与えることになる。冰川高校は、地域の要望により、昭和五十年に開校し、これまでに五千二百十一年の卒業生を送り出しており、学習面・小規模校であつても、学習面・輝かしい成果を挙げている。このように大きく、冰川高校に対する期待は大きく、本校の廃校は、パナソニック熊本株式会社の閉鎖によるものである。よって、県においては、地域の実情を考慮しては、地域の実情を考慮し、生徒や保護者の負担を増大させないため、冰川高校を存続するよう強く要望する。

## 議会を傍聴しませんか

本市においては、本会議・各常任委員会を傍聴することができます。傍聴することで、議会でどのような審議等が行われているのか、皆さんもその様子を見たり、聞いたりすることができます。

～お気軽にお越し下さい～



議場見学

# 市議会議員紹介

■去る8月23日に執行された八代市議会議員一般選挙に選出されました、第2期八代市議会議員を御紹介します。(8月23日現在、50音順、敬称略)



植原 勉  
62歳  
高島町 無所属



上村 哲三  
54歳  
坂本町葉木 自由民主党



太江田 茂  
68歳  
鏡町貝洲 無所属



大倉 裕一  
39歳  
毘舎丸町 無所属



太田 広則  
50歳  
古城町 公明党



亀田 英雄  
48歳  
坂本町鮎帰 無所属



小蘭 純一  
62歳  
本町二丁目 無所属



笹本 サエ子  
67歳  
井上町 日本共産党



庄野 末藏  
66歳  
築添町 無所属



鈴木田 幸一  
58歳  
鏡町貝洲 自由民主党



田方 芳信  
54歳  
高島町 自由民主党



田中 茂  
71歳  
郡築一番町 無所属



田中 安  
60歳  
本町四丁目 無所属



飛石 順子  
59歳  
古閑中町 公明党



友枝 和明  
61歳  
千丁町新牟田 自由民主党



中村 和美  
57歳  
二見洲口町 自由民主党



成松 由紀夫  
38歳  
上野町 自由民主党



西濱 和博  
44歳  
横手町 無所属



野崎 伸也  
34歳  
日置町 無所属



橋本 幸一  
56歳  
東陽町北 自由民主党



福嶋 安徳  
61歳  
千丁町太牟田 自由民主党



藤井 次男  
73歳  
古閑浜町 無所属



古嶋 津義  
65歳  
鏡町内田 自由民主党



堀口 晃  
46歳  
出町 無所属



前垣 信三  
65歳  
松崎町 無所属



前川 祥子  
50歳  
鏡町貝洲 無所属



増田 一喜  
58歳  
豊原下町 自由民主党



松浦 輝幸  
67歳  
郡築四番町 自由民主党



松永 純一  
59歳  
泉町柿迫 無所属



村上 光則  
62歳  
西片町 無所属



百田 隆  
64歳  
平山新町 無所属



山本 幸廣  
62歳  
葭牟田町 自由民主党



矢本 善彦  
61歳  
植柳下町 無所属



幸村 香代子  
47歳  
本野町 無所属

# 議員構成

議員の任期： 平成21年9月4日～平成25年9月3日

議員の定数： 上限数 34人 条例定数 34人 現員数 34人

会派別議員数：	自由民主党 础 6人	同志会 6人	自由民主党 和 5人
	自由民主党 絆 4人	改革クラブ 4人	市民クラブ 3人
	公明党 2人	無所属の会 2人	日本共産党 1人
	新風 1人		

## 年齢別議員数

30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	平均年齢
2人	5人	10人	15人	2人	57.4歳

## 当選回数別議員数（旧市町村での当選回数含む）

1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	計
4人	5人	11人	5人	4人	3人	2人	34人

## 新旧別議員数

前議員	元議員	新議員	計
27人	3人	4人	34人

## 地域別議員数

旧八代市	旧坂本村	旧千丁町	旧鏡町	旧東陽村	旧泉村	計
24人	2人	2人	4人	1人	1人	34人

## 《参考》

### 旧市町村別 議員数

(単位：人)

旧市町村名	人口 (H12国調)	上限数	条例定数	現員数
旧八代市	106,141	34	32	30
旧坂本村	5,771	18	14	14
旧千丁町	6,989	18	12	12
旧鏡町	16,174	22	18	18
旧東陽村	2,805	14	10	10
旧泉村	2,775	14	12	12
合 計	140,655	120	98	96



# 委員会構成決定!!

市議会では、去る9月16日、改選後初めての臨時会を開き、正副議長を初め、常任委員会委員や議会運営委員会委員の選任など、新しい議会の役職を決めました。

各委員会の構成は次のとあります。（9月16日現在）

◎委員長 ○副委員長

## 総務委員会

(9人)

### 【所管事項】

- 行財政の運営に関する諸問題の調査
- 総合計画の策定推進等に関する諸問題の調査

◎増田 一喜  
橋本 幸一  
矢本 善彦

○前川 祥子  
前垣 信三

田方 芳信  
松永 純一

西濱 和博  
百田 隆

## 建設環境委員会

(9人)

◎上村 哲三  
田中 茂  
幸村 香代子

○福嶋 安徳  
藤井 次男

太江田 茂  
古嶋 津義

太田 広則  
村上 光則

## 文教福祉委員会

(8人)

### 【所管事項】

- 教育・文化に関する諸問題の調査
- 保健・福祉に関する諸問題の調査

◎笹本 サエ子  
田中 安

○庄野 末藏  
成松 由紀夫

亀田 英雄  
野崎 伸也

鈴木田 幸一  
山本 幸廣

## 経済企業委員会

(8人)

◎友枝 和明  
小園 純一

○飛石 順子  
中村 和美

植原 勉  
堀口 晃

大倉 裕一  
松浦 輝幸

## 議会運営委員会

(11人)

### 【所管事項】

- 議会の運営に関する事項
- 議会の会議規則、委員会に関する条例等に関する事項
- 議長の諮問に関する事項

◎中村 和美  
亀田 英雄  
堀口 晃

○田方 芳信  
田中 安  
松浦 輝幸

太江田 茂  
成松 由紀夫  
村上 光則

大倉 裕一  
福嶋 安徳

# 委員会報告

すべての議案を本会議できめ細かく審議することは効率的ではないため、本市議会においては、総務委員会、建設環境委員会、文教福祉委員会、経済企業委員会の四つの常任委員会に付託され審議がなされています。（特定の問題については、必要に応じて市議会の議決によって設置された特別委員会において審査・調査されます。）これららの委員会で審査・調査を行つた結果は、委員長から本会議において報告が行われます。

ここでは、十月三十日に行われた委員長報告を抜粋して掲載いたします。

## 経済企業委員会

◆やつしろハーモニーホール条例の一部改正について

説明 今回の改正内容は、入館制限の項目追加、使用時間帯の追加、使用施設の追加についてである。本施設は指定管理者制度を導入しているが、今年度で指定管理期間が終了するため、来年度以降五年間の指定管理者を現在募集中である。これを機に、来年度以降の使用に当たり利用者の要望等を踏まえた条例を改正するものである。

問 指定管理者の権限について

答 指定管理者と協定書を結ぶ際に、ハーモニーホール条例及び同施行規則等関係法令にのつとつた管理運営を行つてもらう

問 動物類を同伴する場合の対象施設の範囲について

答 多目的広場も含めたハーモニーホール全体を対象としている。動物を伴つての行事等もすべて禁止するということではなく、指定管理者の裁量に任せ、状況に合わせた臨機応変な対応をとつていただきたい。

こととしており、トラブルになりそうな場合や判断に困るようなときには担当課に相談していただけような運営体制をとっている。

### ◆平成二十年度八代市病院事業会計決算について

問 病院事業における経営改善に向けた具体的取り組みについて



問 現在いる事務局職員六名及び看護師の削減について

答 年々患者が減少している状況であるが、その原因の一つに医師不足の問題がある。以前六名いた医師が平成十七年度からは四名体制となつており、医師確保のため熊大医局へ依頼はしているが、平成十六年度の研修医制度改正による全国的な医師不足により、大学の医局自体に医師がいないため、本院への配属が難しい状況にある。しかしながら、インターネット等での募集強化による人員確保や、市医師会、労災病院の医師の方々に夜間当直においていただくなど負担軽減を行つていている。また、事務経費においては委託内容の見直しや競争入札等を実施し、対十九年度比で合計二百十四万円の経費節減と

なったところである。

答 初予算作成時は医師五名を予定し、予算編成を行つたところであるが、現状は医師四名での運営となつたためである。

問 不用額約六千九百三十万円について

答 当初予算作成時は医師五名を予定し、予算編成を行つたところであるが、現状は医師四名での運営となつたためである。

## 建設環境委員会

### ◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第四号・北部幹線道路整備事業について

**説明** 現在、本事業計画区間の北側は八千把地区土地区画整理事業が進められており、同事業地内における北部幹線は平成二十四年度に完了予定となつてゐる。さらにその北側は県事業で道路改良が行われているが、本市の区画整理事業の進捗に合わせて接点部の交差点区間から整備が進められることとなつたことから、本市としても、残された未整備区間百メートルについて平成二十四年度の完了を目指し、国の事業認可を得るための委託料を補正するものである。

**答** 北部幹線は八代簡易裁判所前を起点とし古閑浜五差路を終点とする都市計画道路であり、最初に事業認可を得たのが昭和五十一年ごろと認識している。今回予算を計上している部分が

唯一残された未着手区間であり、区画整理事業との進捗を図りたい。

**意見** 現在、国土交通省などは公共事業等の見直しを検討しているとの報道が盛んに行われており、事業が長引けば必要性のある事業とみなされるおそれがあるので、できるだけ早く事業を完了させていただきたい。



### ◆野上ポンプ場築造（土木）工事に係る契約の締結について

**説明** 本件は、野上排水区の浸水解消を図るため、本町一丁目にある野上ポンプ場の敷地内に不足分の能力を補うべく新たに雨水ポンプ場を増設するものであり、工事概要是、地下一階、地上三階建て、鉄筋コンクリートづくりで、今回の工事は地下部分を施工するものである。十

月六日に三社ずつの七グループによる建設工事共同企業体の指名競争入札を実施し、入札金額二億八千八百五十万円、消費税を含めた請負金額三億二百九十万円、落札率九十八・

八%で、三共建設・松中土建・東営建設建設工事共同企業体と仮契約を締結しているところであります。工期は平成二十三年一月三十一日を予定している

### 問 指名業者の選出方法について

**答** 今回の業者選定については、市内の土木工事を希望しているA級の業者二十二社の中から、地元企業である三共建設と経営事項審査の上位九社の合計十社を代表構成員として選出した。

### 問 指名業者の選出方法について

**答** 今回の業者選定については、市内の土木工事を希望しているA級の業者二十二社の中から、地元企業である三共建設と経営事項審査の上位九社の合計十社を代表構成員として選出した。

### 問 指名競争入札における共同企業体の組み合わせ方法について

**答** 本工事は三億円もの事業であります。構成員の組み合わせは、実績のある等級の高い業者から選んでいくことがJVの常ではないかと考える。本市建設工事共同企業体運用基準にも、最上位の等級に属する者の組み合わせとすることが原則となつていて

**問** 今回はA級二社とB級一社で構成された共同企業体となつてゐるが、地元を優先するということであれば、仕事の少ない時世でもあり、A級・B級・C級それぞれから一社ずつで共同企業体を組むという方法をとってもいいのではないかと思う。

**答** 本工事は三億円もの事業であります。構成員の組み合わせは、実績のある等級の高い業者から選んでいくことがJVの常ではないかと考える。本市建設工事共同企業体運用基準にも、最上位の等級に属する者の組み合わせとすることが原則となつていて

**問** 本工事は三億円もの事業であります。構成員の組み合わせは、実績のある等級の高い業者から選んでいくことがJVの常ではないかと考える。本市建設工事共同企業体運用基準にも、最上位の等級に属する者の組み合わせとすることが原則となつていて



## 文教福祉委員会

### ◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第四号・住宅手当緊急特別措置事業について



**問** 本事業対象者に対する、本市市営住宅での支援について問う。

**答** 現在市営住宅に入居されている市民でも対象要件に該当すれば本事業が適用されることがある。ただし、手当を受けるためには、七つの要件があり、一点目に、離職したのが二年以内である者、二点目に、離職前、生計の中であつた者

**説明** 本事業は、国の経済危機対策の一環とする雇用支援であり、離職者かつ就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者などに対し住宅手当を支給することにより住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うものである。支給額は、一人世帯で月額二万六千二百円、二人から六人世帯で月額四千百円、七人以上世帯で月額四万一千円が上限となる。

**問** 本事業対象者に対する、本市市営住宅での支援について問う。

**答** 昨今の世界的不況並びに鏡町の企業の閉鎖等もあり、市内の離職者もかなりある状況なので、本事業の範囲内で対応できる分については、対応していく

- ・三点目に、就労能力と常用就労意欲がある者
- ・四点目に、住宅を喪失、または喪失のおそれがある者
- ・五点目に、原則として無収入である者
- ・六点目に、預貯金が、単身世帯の場合は五十万円、複数世帯の場合は百万円の規定額以下の者
- ・七点目に、国などから同様の給付を受けていない者
- ・すべて満たしている者が該当することとなり、住宅手当を受給することができる。



**問** 地方交付税全体としては五億円から十億円程度、余裕を見た積算を行つており、また、そのうち特別交付税については、さらなる確保も可能という見込みも立てているものの、現時点ではまだ明確に答えられない。

## 総務委員会

### ◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第五号・新型インフルエンザワクチン接種事業について

**説明** 国は、新型インフルエンザの本格流行に伴い、死亡者や重傷者の発生減少と医療提供体制確保のため、優先してワクチン接種を実施する対象者に対する基本方針を発表した。そのうち生活保護世帯及び市町村民税非課税世帯に係るワクチン接種費用について負担軽減措置が図られており、今回、本事業でそのワクチン接種料の二回分を補助するものである。

**問** 本市における負担軽減対象者の人数について問う。

**答** 本市で想定している優先対象者は、約五万七千人であり、そのうち今回の負担軽減対象者は、一万五千五百四十四人を見込んでいる。

**問** 普通交付税を約百五十一億円、特別交付税を約六億円と見込むということであれば、補正後の総額と本年度の交付見込み額との差は四億円程度と考えいいのか問う。

**答** 地方交付税には普通交付税と特別交付税とがあり、普通交付税については、ほぼ確定しており、百五十一億円程度と見込んでいる。特別交付税については、現時点では幾らになるか明確ではないが、当初の積算からすると、おおよそ六億円以上になるものと見込んでいる。

◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第四号・泉町携帯電話不感地域解消事業について

問 本事業による整備後のインターネットへの接続について問う。

説明 携帯電話サービスが利用できない地域の解消を図るため、情報通信格差是正事業の補助金等を活用し、泉町西の岩地区、二本杉地区に基地局を整備するものである。

問 本事業の今後の計画について問う。

答 今年度は国の経済対策による予算措置があり、事業を数力所実施できるが、通常、通信事業者が事業費の六分の一を負担しなければならず、また、市も起債等を起こす必要があるので、今後の整備計画は立てにくい状況にある。

◆八代市長等の退職手当の特例に関する条例の制定について

説明 本条例は、特例条例として、現市長の任期期間中、現市長及び選任又は任命された副市長、常任監査委員、教育長に、退職手当を支給しないことを定めるものである。影響額としては、仮に一期四年間の任期とした場合、四人分で、合計額約三千九百七十万円となる。

◆平成二十一年度八代市一般会計補正予算・第四号・外港工業団地光インターネット整備事業について

決算審査特別委員会設置

編集後記

師走の候となりましたが市民の皆様には御健勝にてお過ごしのこととお察しします。

平成二十年度一般会計並びに特別会計決算が九月定例会最終日の十月三十日に上程されました。

同日、委員十一人で構成す

る決算審査特別委員会を設置し、正・副委員長の互選を行ない、調査は閉会中の継続審査のとおりです。

なお、委員会の構成は、次に付しました。

委員長	古嶋 津義
副委員長	亀田 英雄
委 員	上村 哲三
委 員	田中 茂
委 員	田中 安
委 員	福嶋 友枝
委 員	増田 安徳
委 員	松浦 一喜
委 員	輝幸 和明
委 員	光則 安徳
委 員	香代子 伸也
委 員	幸村 幸村
委 員	村上 村上

皆様には御健勝にてお過ごしのこととお察しします。

八月、市町村合併後一期目の市議会議員選挙が実施され三十四名の新議員が誕生しました。

選舉の関係もあり、議会開催が九月に臨時会、九月定例会は十月開催となり、新執行部の発足とともに二期目のスタートとなる活発な討議・審議が行われました。

さて、今回の「やつしろ市議会だより」から、新しい広報編集委員会のメンバーで発行となります。

読みやすく、わかりやすくを紙面づくりの基本として、できるだけ多くの議会活動の情報を伝えるよう、努力していきたいと考えております。

今後ともよろしくお願いします。

八代市議会広報編集委員会  
座長 田中 田中  
委員 堀口 野崎 祥子  
前川 伸也  
百田 暉茂

## 9月定例会審議結果一覧

\*請願・陳情で継続審査になったものを除く

提案者	議案番号	件名	議決日	審議結果
市長	議案第90号	平成20年度八代市水道事業会計決算	10.30	認定
"	議案第91号	平成20年度八代市病院事業会計決算	10.30	認定
"	議案第92号	平成21年度八代市一般会計補正予算・第4号	10.30	原案可決
"	議案第93号	平成21年度八代市国民健康保険特別会計補正予算・第2号	10.30	原案可決
"	議案第94号	平成21年度八代市老人保健医療特別会計補正予算・第2号	10.30	原案可決
"	議案第95号	平成21年度八代市病院事業会計補正予算・第2号	10.30	原案可決
"	議案第96号	八代市長等の退職手当の特例に関する条例の制定について	10.30	原案可決
"	議案第97号	八代市副市長定数条例の一部改正について	10.30	原案可決
"	議案第98号	八代市地区都市計画等の案の作成手続に関する条例の制定について	10.30	原案可決
"	議案第99号	八代市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について	10.30	原案可決
"	議案第100号	やつしろハーモニーホール条例の一部改正について	10.30	原案可決
"	議案第101号	八代市農村公園条例の一部改正について	10.30	原案可決
"	議案第102号	八代市における県水産事業分担金徴収条例の一部改正について	10.30	原案可決
"	議案第103号	契約の締結について	10.30	可決
"	議案第104号	平成21年度八代市一般会計補正予算・第5号	10.30	原案可決
"	議案第105号	平成20年度八代市一般会計決算	10.30	継続審査
"	議案第106号	平成20年度八代市国民健康保険特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第107号	平成20年度八代市老人保健医療特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第108号	平成20年度八代市後期高齢者医療特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第109号	平成20年度八代市介護保険特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第110号	平成20年度八代市公共下水道事業特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第111号	平成20年度八代市簡易水道事業特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第112号	平成20年度八代市農業集落排水処理施設事業特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第113号	平成20年度八代市浄化槽市町村整備推進事業特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第114号	平成20年度八代市ケーブルテレビ事業特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第115号	平成20年度八代市診療所特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第116号	平成20年度八代市久連子財産区特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第117号	平成20年度八代市椎原財産区特別会計決算	10.30	継続審査
"	議案第118号	契約の締結について	10.30	可決
"	議案第119号	人権擁護委員候補者の推薦について(本田京子氏)	10.30	同意
"	議案第120号	教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて(高植利邦氏)	10.30	同意
"	議案第121号	教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて(吉田浩一氏)	10.30	同意
"	議案第122号	公平委員会委員の任命につき同意を求めるについて(宮崎浩二氏)	10.30	同意
"	議案第123号	監査委員の選任につき同意を求めるについて(矢本善彦氏)	10.30	同意
請願	第1号	氷川高校の存続を求める意見書の提出方について	10.30	採択
議員	発議案第4号	氷川高校の存続を求める意見書案	10.30	原案可決